

北陸地域におけるバイオ産業振興を考える（１）

～ 富山バイオベンチャーフォーラム（第一部）講演録～
（ 2003年11月14日開催 ）

2004年1月

日本政策投資銀行
北陸支店・富山事務所

はじめに

本冊子は、2003年11月14日に富山市で開催された「富山バイオベンチャーフォーラム第一部（主催：日本政策投資銀行、富山バイオセミナー等実行委員会、（財）日本経済研究所）」の基調講演ならびにパネルディスカッションの内容をとりまとめたものです。

現在我が国では、日本経済や地域経済再生の切り札として、産学連携やベンチャー創出に対する期待が高まっています。なかでもバイオテクノロジー分野は、「21世紀はライフサイエンスの世紀」と言われるとおり大きな期待が寄せられています。一方で、地域がバイオ分野で国際的な競争力を得て発展していくためには、地域が有する基礎研究資源と産業化の橋渡し役となるバイオベンチャーを創出する仕組みを整えたバイオクラスターを形成することが不可欠となります。北陸地域でも、2003年2月に富山・高岡地域が文部科学省から「とやま医薬バイオクラスター」の指定を受けるなど、遺伝子の機能解析、DNAチップ、テーラーメイド医療、バイオインフォマティクスなどの先端研究を通じたバイオ産業振興への気運が高まっております。こうした流れを踏まえ、日本政策投資銀行等は「北陸発のバイオベンチャー創出に向けて解決すべき課題や方策を議論し考える場」として、本フォーラムを開催させていただきました。

フォーラムは、開催に先立ち森雅志富山市長から開会挨拶をいただきました。その後のフォーラム前半部では、大学発ベンチャーとして初めて上場を果たしたアンジェスMG(株)取締役の森下竜一氏（大阪大学大学院教授）、ハンズオン型ベンチャーキャピタルである(株)バイオテック・ヘルスケア・パートナーズ代表取締役社長の松本竹男氏、北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究調査センター長の山本和義氏などから、「大学発バイオベンチャー実現のポイント」等について大変示唆に富む基調講演をしていただきました。後半部のパネルディスカッションでは、酒巻弘氏（日本政策投資銀行新規事業部課長）をコーディネーターとして、永塩一郎氏（北斗科学産業(株)代表取締役社長）、南日康夫氏（（財）富山県新世紀産業機構科学技術コーディネーター）、森下氏、松本氏の4氏をパネリストに「富山県におけるバイオベンチャー創出の可能性と課題」をテーマに熱心な議論を展開していただきました。

パネルディスカッションでは、「富山の精密機械工業技術を活かしたナノテクとバイオの融合」、「富山の医薬品製造業の集積を活かした関西地区バイオベンチャーとの連携」などの具体的な提言に加え、「行政によるベンチャー支援」、

「大学による産業界への情報提供充実」といった官や学への注文も出されました。また、バイオクラスターで先行する関西の取組事例が紹介され、「ハードよりもソフトを重視したベンチャー支援や人材育成のプラットフォームづくりを行うことが重要」であるとの指摘もなされました。さらに、「富山はヒト、カネ、モノといったベンチャー成功の3条件が揃っている、あとは想像力」といった激励の声が寄せられました。

最後に、本フォーラム開催にご支援、ご協力いただきました関係者の皆様方、ご参加をいただいた皆様方に、講演録作成にあたり改めて厚く御礼申し上げます。なお、本冊子のタイトルは「北陸地域におけるバイオ産業振興を考える（１）」とさせていただきます。今後、本フォーラムなどの議論も踏まえ「北陸地域におけるバイオ産業振興を考える（２）」をとりまとめ、北陸発のバイオベンチャー創出に向けた具体策等を提言していきたいと考えております。

2004年1月

日本政策投資銀行

北陸支店・富山事務所

目次

1. フォーラム開会挨拶 森 雅志（富山市長）	5
2. 基調講演	9
「バイオ産業をリードする米国バイオベンチャー - 二極化する米国バイオ産業 - 」 西山健介（日本政策投資銀行北陸支店企画調査課調査役）	
「日本版大学発ベンチャー - 北陸先端大のベンチャー育成の取組み - 」 山本和義（北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究調査センター長・教授）	
「バイオベンチャー創出におけるベンチャーキャピタルの役割と課題 - ハズブロ型ベンチャーキャピタル「BHP」の戦略 - 」 松本竹男（㈱バイオテック・ヘルスケア・パートナーズ代表取締役社長）	
「大学発バイオベンチャー実現のポイント - アンジェスエムジールの挑戦 - 」 森下竜一（アンジェスエムジール㈱取締役、大阪大学大学院教授）	
3. パネルディスカッション	51
「富山県におけるバイオベンチャー創出の可能性と課題」 コーディネーター 酒巻 弘（日本政策投資銀行新規事業部課長） パネリスト 永塩一郎（北斗科学産業㈱代表取締役社長） 南日康夫（(財)富山県新世紀産業機構科学技術コーディネーター） 松本竹男（㈱バイオテック・ヘルスケア・パートナーズ代表取締役社長） 森下竜一（アンジェスエムジール㈱取締役、大阪大学大学院教授）	
4. 基調講演資料	75
5. フォーラムパンフレット	133

（本冊子中敬称略・所属等は開催当時）